

比喩にかかわる意味特徴が理解容易性、面白み、斬新さに与える影響 — 直喩形式と隠喩形式の比較 —

Effects of Semantic Features of Metaphors on Interestingness, Comprehensibility, and Novelty Ratings: Comparison of the Metaphor Form and Simile Form

中本敬子*1, 平 知宏*2, 内海 彰*3
Keiko Nakamoto, Tomohiro Taira, Akira Utsumi

*1文教大学, *2大阪市立大学, *3電気通信大学
Bunkyo University, Osaka City University, The University of Electro-Communication
nakamoto@koshigaya.bunkyo.ac.jp

Abstract

This paper compares the effects of the semantic features of the figurative expressions on the ratings of interestingness, comprehensibility and novelty in metaphor and simile forms. An experiment was conducted to examine how the relevancy of the semantic features related to each of the constituent terms and the interpretation of metaphorical expressions relates to these ratings. In an attribute rating task, participants rated nominal metaphorical expressions on these attributes in metaphor or simile forms. In a feature-relevancy rating task, 72 participants were asked to rate how each semantic feature related to the interpretation of the metaphoric expressions. Correlational and regression analysis showed that the relevance of the topic-related semantic features decreases the interestingness of the expressions, when they were presented in metaphor forms.

Keywords — metaphor, simile, interestingness, semantic features

1. はじめに

比喩には、“ように”や“まるで”のようにたとえであることを明示する語句が使われている直喩（例：権力は麻薬のようだ）と、そのような語句を含まない隠喩（例：権力は麻薬だ）がある。同じ主題と喩辞で構成される比喩であれば、直喩形式であっても隠喩形式であっても、ほぼ同じような意味に解釈されることが多い。しかし、これまでの研究から、直喩と隠喩では理解のプロセスに違いがあること（たとえば、Glucksberg, 2003; Shibata, et al., 2012）、比喩を構成する語の性質や比喩の特性によって隠喩形式と直喩形式のどちらがより好まれるかが影響されること（たとえば、

Chiappe & Kennedy, 2000, 2001; Utsumi & Kuwabara, 2005）などが示唆されてきている。

また、修辭的効果に関しても隠喩と直喩の間には違いがあることが指摘されてきている。たとえば、隠喩は直喩よりも“強い”言い回しとして使用されること、隠喩と直喩では“詩的”であるとの評定に対して影響を与える要因が異なること等が示されてきている。

しかし、これまでのところ、比喩にかかわる意味特徴と比喩の理解容易性や面白み等との関係が隠喩形式をとるか直喩形式をとるかによって変化するか否かは、十分に検討されてきていない。そこで、本研究では、比喩構成語の意味特徴や解釈に現れる意味特徴が解釈にどの程度適合するかと、理解容易性、面白み、斬新さといった比喩の特性評定との関連について検討を行った。先行研究では、隠喩は、主題を喩辞の示す比喩カテゴリーのメンバーと見なすことで理解されるのに対し、直喩は主題と喩辞を比較しその類似性を導き出すことで理解されると考えられることが指摘されている（Glucksberg, 2003; Bowdle & Gentner, 2005）。この指摘にしたがって考えると、隠喩では、直喩に比べて、比喩解釈後に、主題や喩辞にのみ強く関連する意味特徴が解釈に適合すると感じられる程度が、比喩特性評定と関連すると予想される。なぜなら、隠喩では喩辞の持つ比喩に無関連な意味特徴を抑制し比喩カテゴリーを抽象化したり、主題を喩辞カテゴリーのメンバーと見なす際に無関連な意味特徴を抑制する必要があるか

らである。

2. 方法

参加者 大学生 116 名 (比喩の特性評定課題 44 名、関連特徴の適合度評定 72 名) が参加した。全員、日本語を母語とする者であった。

材料 先行研究 (中本・楠見, 2004; 平・中本・楠見, 2007) を参考に、主題と喩辞の組を 24 対作成した (例: 権力-麻薬。以下、構成語対と呼ぶ)。それぞれの対に対して、隠喩、直喩の 2 つの形式の比喩を作成した (権力は麻薬だ、権力は麻薬のようだ)。また、それぞれの構成語対について、先行研究を参考に、比喩の解釈に関連する意味特徴 3 つ、主題にのみ強く関連する意味特徴を 3 つ、喩辞にのみ強く関連する意味特徴 3 つを構成語に関連する意味特徴として用意した。

比喩の特性評定課題 隠喩形式、直喩形式に対して異なる参加者を割り当て (それぞれ 22 名)、それぞれの構成語対からなる比喩文について、理解容易性 (1.理解しにくい-5.理解しやすい)、面白み (1.面白みのない-5.面白みのある)、斬新さを 5 件法 (1.斬新でない-5.斬新である) で評定するよう求めた。

関連特徴の解釈への適合度評定課題 隠喩形式 24 文、直喩形式 24 文のそれぞれを 12 文ずつに分割し、異なる参加者 (それぞれ、18 名ずつ) を割り当てた。参加者には、各比喩文に対応する 9 つの関連特徴について、比喩の解釈内容に適合する程度を 4 件法で評定するよう求めた。

3. 結果と考察

理解容易性、面白み、斬新さについて隠喩形式、直喩形式での平均値を求めた結果を表 1 に示した。それぞれの平均値について、隠喩形式と直喩形式の間に差があるかどうかを検討したところ、いずれにおいても有意な差は見られなかった (理解容易性: $t(23)=.405$, n.s., 面白み, $t(23)=-1.263$, n.s., 斬新さ: $t(23)=.798$, n.s.)。次に、3 つの特性間の相関を求めた結果を表 2 に示す。表 3 から、隠喩形式、直喩形式のどち

らにおいても、斬新さと面白みの間に正の相関があることが分かる。この結果は、直喩において独創性が面白さの評定に影響を与えるとする先行研究 (中本・楠見, 2004) と一致しており、直喩、隠喩といった形式にかかわらず、目新しさは面白さに正の影響を与えることを示す。さらに、表 3 では、隠喩形式でのみ、斬新さと理解容易性の間に、負の相関が見られる。このことは、慣習性が高く新規性の低い隠喩 (つまり斬新さに乏しい隠喩) では喩辞の持つ比喩的カテゴリーの意味が想起しやすくなり、それが比喩の理解しやすさにつながったためと考えられる。つまり、隠喩では、喩辞が慣習化されて比喩的な意味をある程度固定的に持つことが、斬新さを低めると同時に、理解のしやすさをもたらすと考えられる。それに対して、先行研究から、直喩は、主題と喩辞の類似性比較によって理解されると考えられる。つまり、直喩では、主題と喩辞の組み合わせがある程度目新しい場合には、そのたびに両者の類似点が計算されることで理解されると考えられる。ここから、隠喩に比べて、表現としての斬新さは理解容易性に影響しなかったと解釈できる。さらに、統計的には有意ではないものの、隠喩では理解容易性と面白みの間に正の相関が見られるのに対し、直喩ではそのような相関は見られなかった。

続いて、関連特徴の比喩解釈への適合度が理解容易性、面白み、斬新さのそれぞれとどのように関連しているかを検討するため、3 種類の特徴の適合度を独立変数、比喩の特性を従属変数とする重回帰分析を行った (表 3)。全般的に、解釈に対する 3 種類の特徴の適合度からは、理解容易性等の評定をほとんど予測できていない。しかし、隠喩形式においては、主題に強く関連する意味特徴の比喩解釈への適合度が高い場合に、面白みが低く評定されていることが分かる。この結果は、隠喩を解釈したあとも、主題を喩辞が示す比喩カテゴリーのメンバーと見なしたときに、そのカテゴリーの特徴以外の特徴が主題にとって顕著なままとすることで、面白み

が下がることを示唆する。つまり、隠喩解釈においては、主題を喩辞カテゴリーのメンバーと見なした場合にうまく適合しない主題の特徴が顕著なままとなることで、面白みが低減する可能性がある。

これらの結果は、隠喩と直喩では、比喩の特性評定に対する比喩関連の意味特性の解釈への適合度の影響が異なることを示すと言えよう。

表1 理解容易性、面白み、斬新さの平均値

		理解容易性	面白み	斬新さ
直喩形式	M	3.49	3.27	3.09
	SD	0.59	0.41	0.51
隠喩形式	M	3.47	3.18	3.15
	SD	0.72	0.44	0.51

表2 比喩特性間の相関

	理解容易性	面白み	斬新さ
理解容易性		0.055	-0.292
面白み	0.328		0.81 **
斬新さ	-0.366 †	0.629 **	

注) 上三角は直喩形式での相関係数を、下三角は隠喩形式での相関係数を示す。

参考文献

[1] Bowdle, B. & Gentner, D. (2005). The career of metaphor. *Psychological Review*, **112**, 193-216

[2] Chiappe, D.L. & Kennedy, J.M. (2000). Are

metaphors elliptical similes? *Journal of Psycholinguistic Research*, **29**, 371-398.

[3] Chiappe, D.L. & Kennedy, J.M. (2001). Literal bases for metaphor and simile. *Metaphor and Symbol*, **16**, 249-276.

[4] Glucksberg, S. (2003). The psycholinguistics of metaphor. *Trends in Cognitive Sciences*, **7**, 92-96.

[5] 中本敬子・楠見孝(2004). 比喩材料文の心理的特性と分類: 基準表作成の試み 読書科学, **48**, 1-10.

[6] Shibata, M., Toyomura, A., Motoyama, H., Kawabata, Y. & Abe, J. (2012). Does simile comprehension differ from metaphor comprehension? A functional MRI study. *Brain and Language*, **121**, 254-260.

[7] 平知宏・中本敬子・楠見孝 (2007). 比喩理解における親しみやすさと解釈の多様性 認知科学, **14**, 322-338.

[8] Utsumi, A. & Kuwabata, Y. (2005). Interpretive diversity as a source of metaphor-simile distinction. In *Proceedings of the 27th Annual Meeting of the Cognitive Science Society*, pp.2230-2235.

表3 理解容易性、面白み、斬新さを従属変数とする重回帰分析の標準化偏回帰係数と相関

		解釈に関連		主題に強く関連		喩辞に強く関連		R ²
		相関	回帰	相関	回帰	相関	回帰	
直喩形式	理解容易性	0.28	0.38	-0.09	-0.24	0.05	-0.02	0.127
	面白み	0.03	0.14	-0.31	-0.36	0.22	0.19	0.160
	斬新さ	-0.01	0.01	-0.10	-0.10	0.15	0.14	0.032
隠喩形式	理解容易性	0.09	0.15	-0.24	-0.26	-0.09	-0.11	0.086
	面白み	-0.21	-0.08	-0.56 **	-0.53 **	-0.21	-0.17	0.349
	斬新さ	-0.22	-0.17	-0.30	-0.27	-0.05	-0.01	0.121

付録

実験に用いた比喩 孤独-砂漠, 契約-手錠, 疲労-荷物, 恋-戦争, 時間-お金, 犯罪-細菌, 教育-階段, 学校-工場, 情熱-溶岩, 群衆-雪崩, 仕事-牢獄, 希

望-光, 噂-雪だるま, 誘惑-蜜, 空-鏡, 心-沼, 言葉-武器, 結婚-冷蔵庫, 記憶-ざる, 人生-旅, 時代-潮流, 権力-麻薬, 酒-友人, にわとり-時計